

おおさか ぶりつしょう しやじりつ たいしよしゃ ちようさけっか  
**大阪府立 障がい者自立センター退所者アンケート調査結果**

ちようさがいよう  
**I. 調査概要**

1. 調査対象：平成28年5月から平成30年3月末までに退所された方 132人

2. 調査期間：平成28年5月1日～平成30年6月30日

3. 回答率：62% (82人/132人)

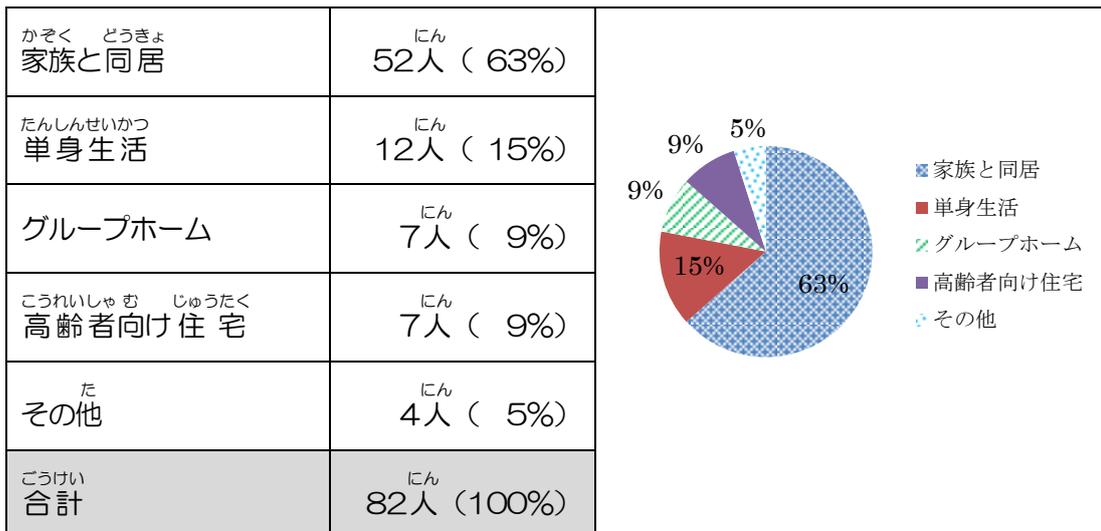
※構成比は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

※自由記述については、主要な意見を掲載しています。

ちようさけっか  
**II. 調査結果**

たいしよご  
**1. 退所後の暮らしについて**

す  
**(1) 住まい**



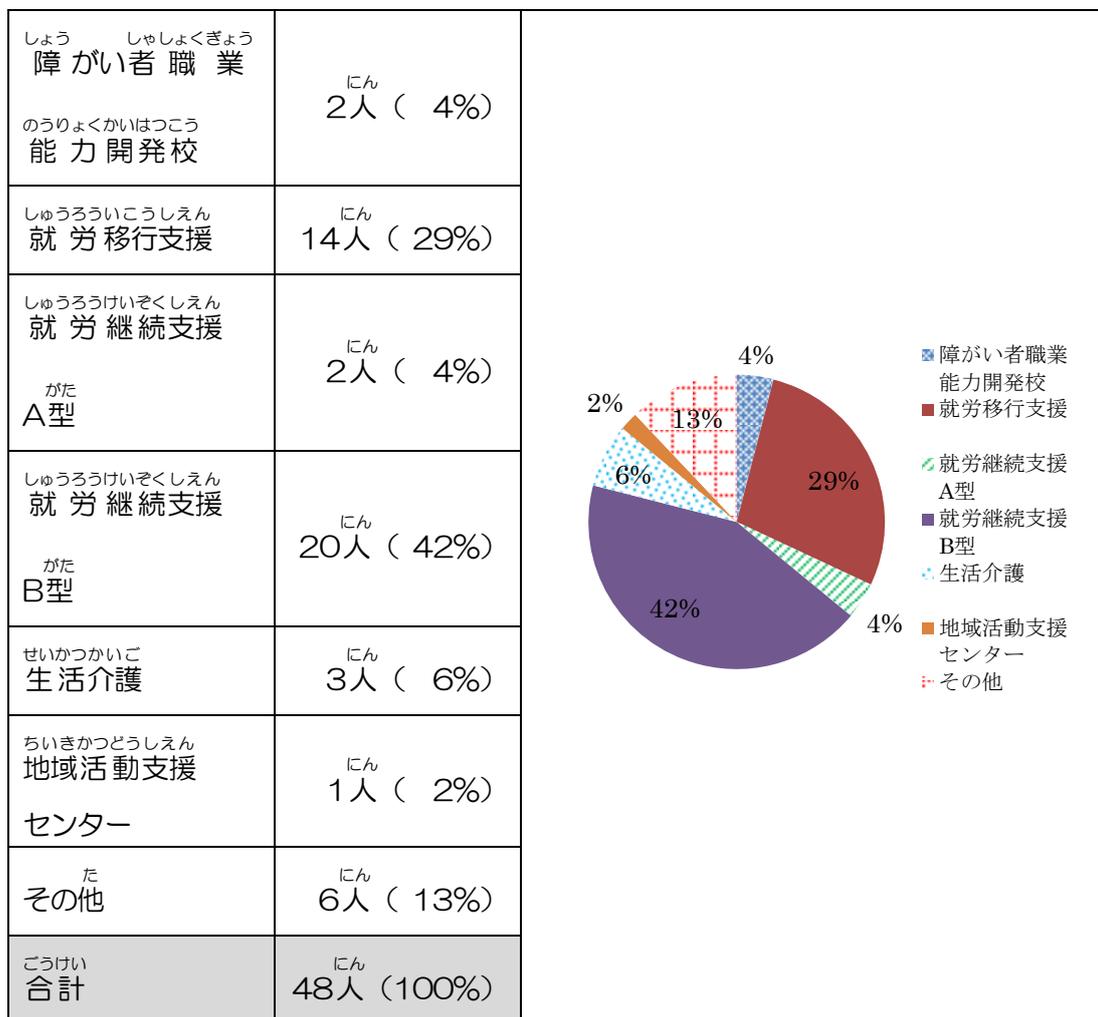
(2) 日中活動 (複数回答可)

しゅうろう 就 労	にん 15人 (18%)
がっこう へくがく 学 校 (復学)	にん 3人 (4%)
しょう へくし 障 がい福祉サービス	にん 48人 (59%)
かいごほけん 介護保険サービス	にん 27人 (33%)
かじ しゅみどう 家事・趣味等	にん 26人 (32%)
ごうけい 合 計	にん 82人 (100%)

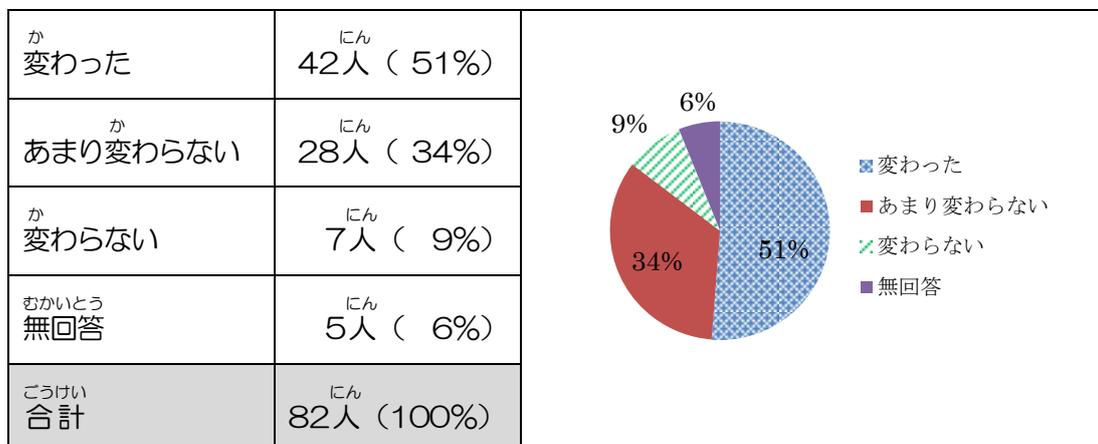
◆ (2) - 1 日中活動のうち「就 労」の内訳

へくしょく 復 職	にん 12人 (80%)	<p> <span style="color: blue;">■</span> 復職  <span style="color: red;">■</span> 新規就労  <span style="color: green;">■</span> アルバイト  <span style="color: purple;">■</span> その他         </p>
しんきしゅうろう 新規就 労	にん 1人 (7%)	
アルバイト	にん 1人 (7%)	
その他	にん 1人 (7%)	
ごうけい 合 計	にん 15人 (100%)	

◆ (2) - 2 日中活動のうち「障がい福祉サービス」の内訳



(3) 自立センター利用前後の変化



<「変わった」と回答した人の意見>

○規則正しい生活ができるようになった。

○ある程度の家事や外出ができるようになった。

○歩行が安定し、杖で近辺外出できるようになった。

○公共交通機関を使って外出する機会が増えた。

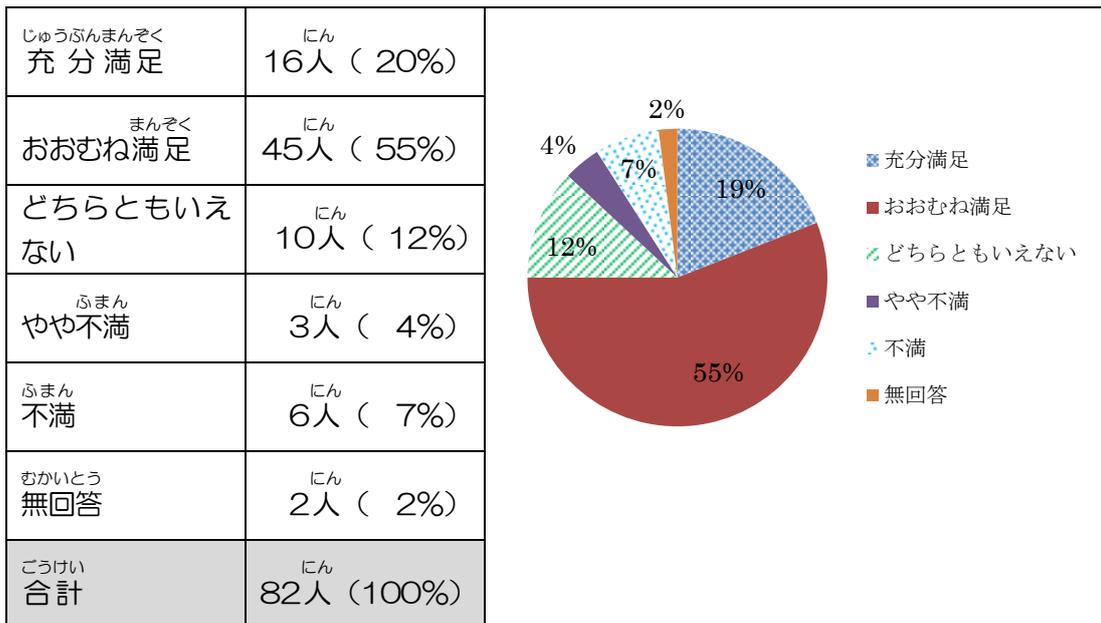
○メモリーノートにこまめに書くようになった。

○自分の意志をしっかりとまわりに伝えられるようになった。

○入所当時は、かなり時間をかけて1つのことをするのがやっとだったが、焦らずにやれば、ほぼミスなく2つくらいのことができるようになった。

2. 自立センターについて

(1) 自立センターを利用してどのように思われましたか？



りようしゃ かんそう ぷまん てん  
 <利用者の感想（不満な点）>

しせつない せいけつ  
 ○施設内は清潔にしてほしい。

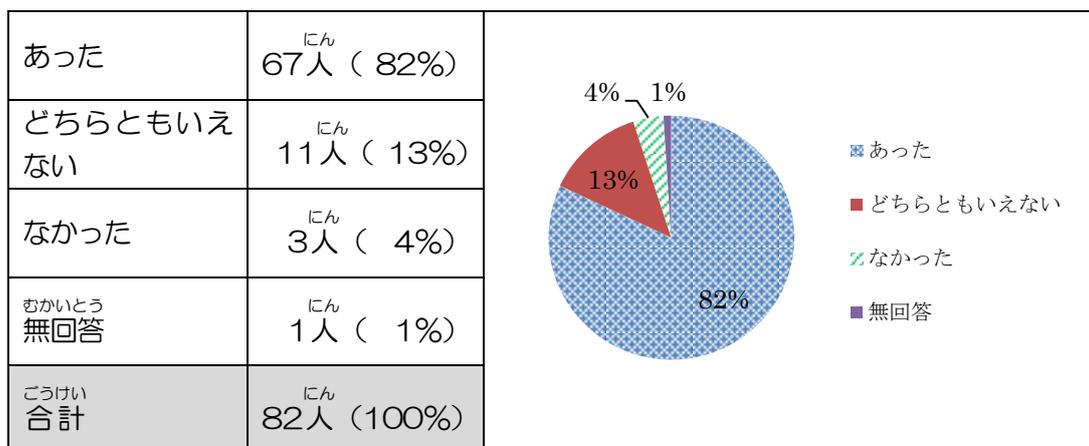
くうちょう すこ き  
 ○空調をもう少し効かせてほしい。

じしゅ こうどう かいほう  
 ○自主トレができるよう、講堂を開放してほしい。

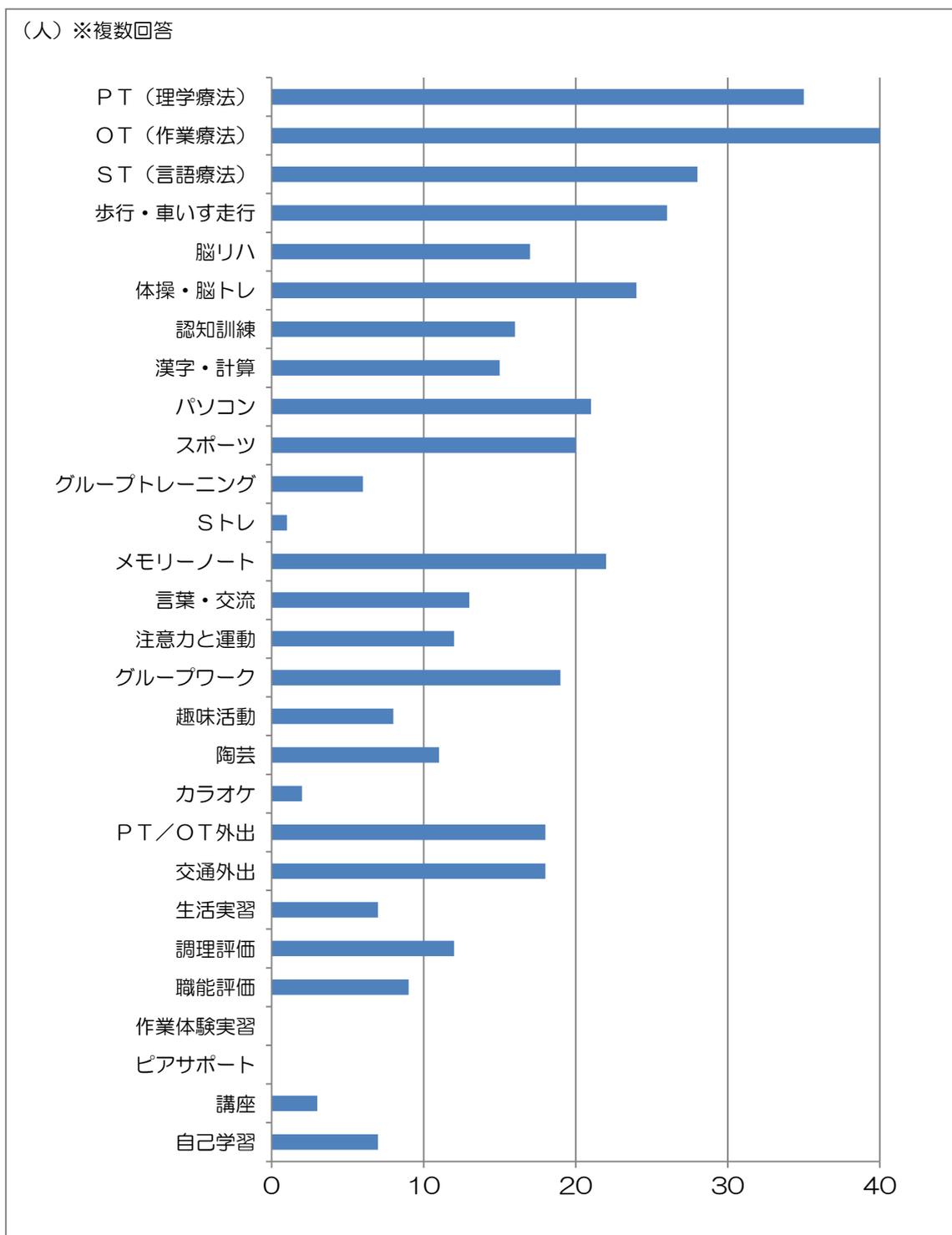
○リハビリのプログラムをもっと増やしてほしい。

○プログラムが自分に合わず、ただ座っているだけと感じることがたまにあった。

さんか  
 (2) 参加してよかったプログラムはありましたか？



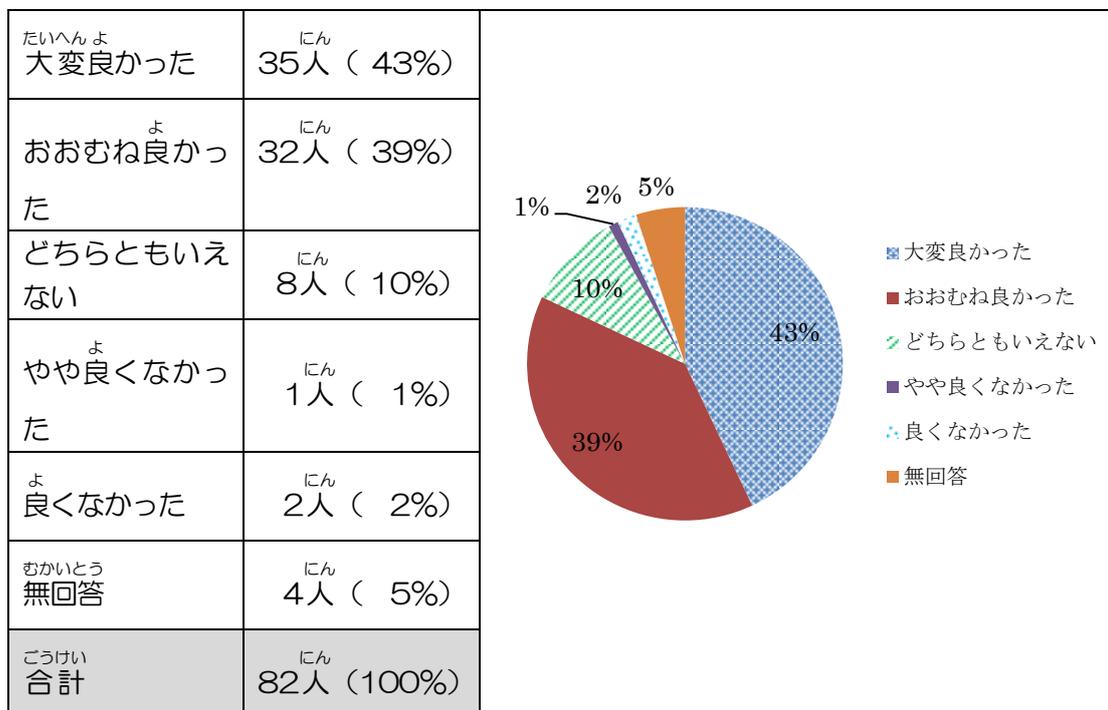
さんか ふくすうかいとう  
 ◆参加してよかったプログラム（複数回答）



かく ないよう らん  
 ※各プログラムの内容については、p.13~15をご覧ください。

じゅうこう りようしゃ こと  
 どのプログラムを受講するかは、利用者によって異なります。

(3) 職員の接し方や態度は適切でしたか？



よ てん  
＜良かった点＞

げんき う こた  
○いつも元気よく受け答えしてくれた。

にゅうしょちよくこ かお なまえ おぼ  
○入所直後に顔と名前を覚えてくれた。

ことばづか ていねい  
○言葉遣いが丁寧だった。

しょくいん やさ ところ お つ  
○職員みんなが優しく、心が落ち着く。

はなし さいご き  
○話をしっかり最後まで聞いてもらえた。

こ こ おう たいおう  
○個々に応じた対応ができていた。

しつもん てきかく へんとう たす  
○わからないことを質問すれば、的確に返答してくれ、助かった。

わたし にがて ふとくい み おこな  
○私の苦手なことや不得意なことを見つけ、スムーズに行えるよう、サポートしてくれた。

けいご つか かん  
○フレンドリーでありながら、きちんと敬語を使っており、とても感じがよかった。

しょう も しぶん たい おな めせん ねんれい かんけい せつ  
○障がいを持った自分たちに対し、同じ目線で、年齢など関係なく接してくれた。

い まちが い  
○いいことをするといいと言い、間違ったことをすると、こうすればいいと言っ

つね わたし こと おも せつ  
てくれる。常に私の事を思って接してくれた。

たいしょご せいかつ かんが  
○退所後の生活を考えてくれた。

よ てん  
＜良くなかった点＞

しょくいん すく  
○職員が少ない。

にゅうしょしや おお たいおう おも  
○入所者が多すぎて対応しきれていないことがあるように思えた。

たんとうしょくいん しゅっちょう いそが はなし  
○担当職員出張などで忙しく、あまり話ができない。

いき しょくいん  
○ため息をつく職員がいる。

ひと まえ き しょくいん  
○人のプライベートなことを、みんなの前で聞いている職員がいた。

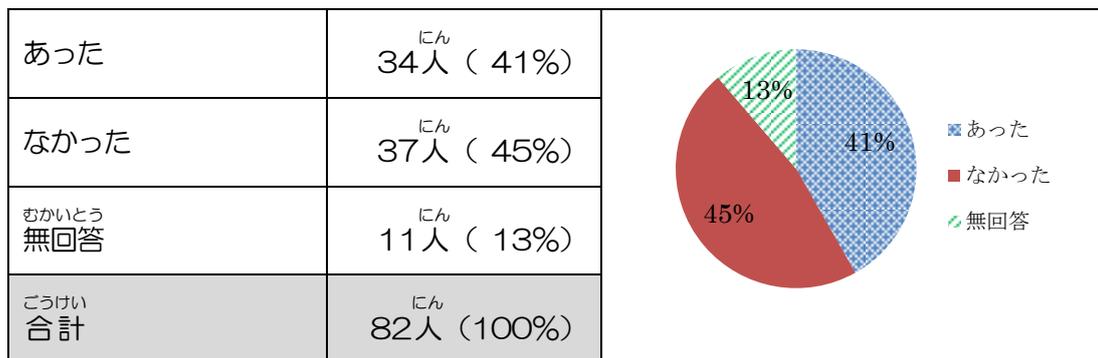
いけんばこ だ いけん かいとう めいかく  
○意見箱に出した意見について、回答が明確ではなかった。

こしつ あ とき もんだい しょくいん おも  
○個室を開ける時のマナーに問題がある職員がいると思う。

しょくいん さい おな たんとうしょくいん  
○職員のスキルに差異があり、同じプログラムでも、担当職員によって、

せいか さ で おも  
成果に差が出ていると思う。

じりつ たいしよ とき ふあん  
(4) 自立センターを退所する時に不安はなかったですか？



<「不安があった」と回答した人の意見>

○リハビリが満足に受けられるのか。

○復職できるのか。

○仕事がどれだけできるのか。職場復帰した際、以前に自分がしていたことがどのくらいできるのか。

○守られた空間から外に出る事にすごく不安を感じる。

○新しい場所でうまくやっていけるかどうか、心配になった。

○時間通りにしていたことがなくなるので、退所後だらけるのがすごく心配だった。

○自立センターの職員は、自分のできること・できないことを適切に理解して

接してくれるが、家族はそれほど理解できていないし、その微妙な違いを家族

に説明できない。

3. これからの生活について

(1) これからやってみたいことは何ですか？

- 自立した生活をしたい。  仕事に就きたい。  復職したい。
- 大学を卒業したい。  杖なしで歩きたい。  歩いて旅行がしたい。
- 散歩・ジョギング  走ることやスポーツ  パソコン（ワード・エクセル）
- 陶芸を教室等で継続してやってみたい。  字幕で映画を見たい。
- 買い物・料理など家事全般  家族サービス  自動車の運転
- 兄弟の経済的・精神的支援への恩返し  昔の自分に戻りたい。

(2) こんな支援があればいいのに、と思うことはありますか？

- 通所リハビリ  困ったときに相談できる人・場所
- 本人が出かけなくても相談できるサービス
- 移動に関して手助けしてもらえるサービス
- ガイドヘルパーを常時利用したい。
- 交通機関のバリアフリーが進んでほしい。
- 介護保険や障がい福祉などとらわれず、サービスが利用できたらいい。
- どんなサービスがあるかわからない。

### Ⅲ. 調査結果のまとめ

当センターでは、開所した平成19年4月より、退所された方々を対象に利用満足度を把握するアンケート調査を実施してきました。今回は、平成28年5月から平成30年3月末までに退所された方々の回答を集計しました。

当センターの利用を経て、生活や暮らしが「変わった」と回答した方は、前回より23ポイント低下しました。また、当センターの利用について「充分満足」「おおむね満足」と回答した方の割合はほぼ前回同様でしたが、「充分満足」が8ポイント低下し、「おおむね満足」が7ポイント上昇しています。提供しているプログラムについても、「良いプログラムがあった」と回答した方が6ポイント低下しており、全体的に前回よりも厳しい回答・ご意見をいただいた形となりました。

今回いただいた貴重なご意見を職員間で共有し、支援の質と利用満足度の向上に努めていきます。また、アンケートの質問紙についても、より回答しやすい形を目指し、随時見直しをしていきたいと思っております。

最後に、アンケートにご協力いただいた利用者・ご家族の皆様方に厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

さんこう ないよう  
参考：プログラム内容

めい プログラム名	ないよう もくてき 内容や目的
りがくりょうほう PT (理学療法)	しんたいきのう いじ こうじょう とく いどうのうりよく こうじょう くんれん 身体機能の維持・向上、特に移動能力の向上をはかる訓練  たいしょう きのうくんれん りょうしゃ ※対象は機能訓練の利用者のみ
さぎょうりょうほう OT (作業療法)	にちじょうせいかつどうさのうりよく にんちのうりよく こうじょう くんれん 日常生活動作能力、認知能力の向上をはかる訓練  つうしりょうしゃ しよきひょうか じっし ※通所利用者は、初期評価のみ実施
げんごりょうほう ST (言語療法)	しつごしょう りょうしゃ たいしょう のうりよく こうじょう 失語症の利用者を対象に、コミュニケーション能力の向上をはかる  くんれん 訓練
ほこう くるま そうこう 歩行・車いす走行	ほこうのうりよく くるま くだうのうりよく きそたいりよく こうじょう くんれん 歩行能力・車いす駆動能力・基礎体力の向上をはかる訓練
のう 脳リハ	きじょうかだい おこな にんちくんれん 机上課題を行う認知訓練
たいそう のう 体操・脳トレ	うんどう いどう ともな にんちくんれん 運動(移動)を伴う認知訓練
にんちくんれん 認知訓練	き と か うつ はっぴょうとう かだい とお しゅうちゅうりよく きおくりよく 聞き取り・書き写し・発表等の課題を通して、集中力・記憶力やコ  のうりよく こうじょう くんれん ミュニケーション能力の向上をはかる訓練
かんじ けいさん 漢字・計算	かんじ けいさん とく のう かつせいか 漢字や計算のドリルに取り組み、脳の活性化をはかる
パソコン	ぶんしょうさくせい とく タイピングや文章作成に取り組む
スポーツ	とお しんしん けんこう いじ こうじょう スポーツを通して、心身の健康の維持・向上をはかる
グループトレーニング	こういとう きそてき にちじょうせいかつどうさ くんれん しゅうだん おこな 更衣等、基礎的な日常生活動作の訓練を集団で行う
Sトレ(ソーシャル・ト レーニング)	きょうどうさぎょう とお かつどうせい こうじょう 共同作業やゲームを通して、活動性の向上やリフレッシュをはかる  へいせい ねん がつ ねん がつ じっし ※平成29年11月～30年2月に実施

メモリーノート	よていかんりのうりよく こうじょう きおくしょう すいこうきのうしょう だいしょうしゅだん 予定管理能力の向上、記憶障がいや遂行機能障がいの代償手段  かくとく の獲得をはかる
ことば こうりゅう 言葉・交流	しつごしょう りょうしゃどうし こうりゅう 失語症の利用者同士の交流をはかる
ちゅういりよく うんどう 注意力と運動	ちゅういしょう はんそくくわかんむし りょうしゃ たい あんぜん いどう のうりよく 注意障がいや半側空間無視の利用者に対し、安全に移動する能力の  こうじょう 向上をはかる
グループワーク	しょうにんすう こうじのうきのうしょう りかい じゅう そくしん ちいき 少人数のグループにて、高次脳機能障がいの理解・受容の促進や地域  せいかつ かだい せいり 生活にむけた課題の整理をはかる
しゅみかつどう 趣味活動	しょう ふで しゅうじ しゃきょう かいが えてがみ ぬ えとう おこな よかつどう 書道・筆ペン習字・写経・絵画・絵手紙・塗り絵等を行い、余暇活動  じゅうじつ しよじのうりよく しゅうちゅうりよく こうじょう の充実や書字能力・集中力の向上をはかる
とうげい 陶芸	よかつどう じゅうじつ てゆび おこな 余暇活動の充実をはかるとともに、手指のリハビリを行う
カラオケ	よかつどう じゅうじつ 余暇活動の充実をはかる
がいしゅつ PT/OT 外出	がいしゅつじ みまも ひつよう りょうしゃ たい りがくりょうほうし さぎょうりょうほうし 外出時に見守りが必要な利用者に対し、理学療法士や作業療法士が  くるま そうさくくれん きんべんがいしゅつくれん おこな たんどくがいしゅつはんいかくだい 車いす操作訓練や近辺外出訓練を行い、単独外出範囲拡大を  はかる
こうつうがいしゅつ 交通外出	こうきょうこうつうきかん でんしゃ りょう がいしゅつ れんしゅう ひょうか 公共交通機関（電車・バス）を利用した外出の練習・評価  たんどく がいしゅつ そうてい しょう しゃてちょう ていじ えきいん かいじょいらい ※単独での外出を想定し、障がい者手帳の提示や駅員への介助依頼  りょうしゃ おこな も利用者が行う
せいかつじっしゅう 生活実習	よくしつ こしつ たんしん せいかつ そうてい キッチンや浴室のある個室にて、単身やグループホームでの生活を想定した  せいかつ か もの ちょうり せいそう にゅうよくとう ひょうか おこな 生活（買い物・調理・清掃・入浴等）とその評価を行う
ちょうりひょうか 調理評価	ちょうりどうさ れんしゅう ひょうか さぎょうりょうほうし おこな 調理動作の練習・評価を作業療法士が行う
しよくのうひょうか 職能評価	けいさぎょう じむさぎょう とお しゅうろう ひつよう のうりよく ひょうか おこな 軽作業と事務作業を通し、就労に必要な能力の評価を行う

さぎょうたいけんじっしゅう 作業体験実習	ちゅうぼうぎょうしゃ きょうりよく え しょくどう はいぜん あとかたづ じっしゅう 厨房業者の協力を得て、食堂にて配膳・後片付けの実習と ひょうか おこな 評価を行う
ピアサポート	せきすいそんしょうきょうかい そうだんしえん 背髄損傷協会による相談支援
こうざ 講座	けんこうかんり しゃかいしげん りょう けいはつ しょうほうていきょう おこな 健康管理や社会資源の利用について、啓発や情報提供を行う
じこがくしゅう 自己学習	じゆうじかん かくじ せってい かだい けいさん とう とく 自由時間に各自で設定した課題（計算ドリル、パソコン等）に取り組む とく くないよう りょう ひつよう おう しょくいん しえん ※取り組む内容や量については、必要に応じて職員が支援

※プログラムの名称や内容は平成30年6月時点のものであり、今後変更となる可能性があります。